

2007年6月4日

コーデックス委員会日本政府代表 殿  
コーデックス連絡協議会委員 各位

コーデックス連絡協議会委員  
NPO 法人日本消費者連盟副代表運営委員  
山浦康明  
コーデックス研究会

### 意見書

「コーデックスバイオテクノロジー応用食品特別部会への政府コメントについて」  
2007年9月24日から28日まで幕張で行われる特別部会の予定議題につき、山浦も参加するコーデックス研究会では以下の問題点、疑問点があると考えます。日本政府がコーデックス事務局にコメントを提出する際には、コーデックス連絡協議会での検討をふまえて、これらの論点を明確にし、対処方針を決定していただきたい。

### 記

#### 1. 議題4の「遺伝子組み換え動物」のテキストについて

植物ガイドラインをベースにした本テキストは動物の特殊性を十分に考慮していない。

・OLFの扱いは重要であるのに、その検討はどうなるのか不明だ。とくに生態系への悪影響を検討する必要がある。

・植物ガイドラインをベースにした場合、動物での安全性評価の方法が可能かどうか疑問を持つ。日本の「ほうれんそう豚」は実質的同等性では評価不能と思われる。

・本テキストのパラグラフ63から66「抗生物質耐性マーカー遺伝子を含む食品の安全性評価」の討議に際しては、これを使用すべきでないことを明記する必要がある。

#### 2. 議題5の「栄養強化・健康に資する遺伝子組み換え植物」のテキストについて

日本では遺伝子組み換え花粉症緩和米は医薬品として取り扱われることになった。これをふまえて、本テキストを食品として検討することをただちに中止すべきである。

・安全性評価の方法が可能か疑問だ。実質的同等性の概念では比較検討できない。

・動物実験を含め、医薬品としての厳しい安全性評価が必要だ。

#### 3. 議題6の「Low Level 混入問題」について

・輸入国において未承認の遺伝子組み換え食品の混入はあくまで違法であり、ゼロトレランスでなければならない。コーデックス委員会の目的である「消費者の健康の保護」、「公正な貿易の促進」のうち、後者を強調するようなことは認められない。

・バイオ燃料用作物が栽培され始めた現在、遺伝子組み換え植物がその原料として注目されている。世界では燃料と食物との奪い合いとなっており、今後燃料用の遺伝子組み換え作物の食品への混入問題、ほ場での交雑、食品としての安全性、環境汚染などで問題が生じる恐れがある。そのさいに混入基準を安易に設定するようなことがあってはならない。

・2007年3月13日から15日に米国で開かれたワーキンググループの論点中「低レ

ベルの定義の必要性」「安全性評価の簡略化は行うべきではないこと」「データ・情報共有制度では全情報を承認後すぐに公開すべきこと」「本テキストはあくまであってはならない例外的な状況用のものであること」などにつき、日本政府の評価を明らかにしていただきたい。

\*議題5, 議題6のテキストをコーデックス連絡協議会で配布し、検討をしていただきたい。  
以上

## 第 28 回コーデックス連絡協議会資料一覧

資料番号	資料名
1	議事次第
2	委員名簿
3	会場配置図
4-(1)	第 24 回一般原則部会 (CCGP) 議題 [仮訳]
4-(2)	第 24 回一般原則部会 (CCGP) 概要
5-(1)	第 1 回汚染物質部会 (CCCF) 議題 [仮訳]
5-(2)	第 1 回汚染物質部会 (CCCF) 概要
6-(1)	第 39 回食品添加物部会 (CCFA) 議題 [仮訳]
6-(2)	第 39 回食品添加物部会 (CCFA) 概要
7-(1)	第 35 回食品表示部会 (CCFL) 議題 [仮訳]
7-(2)	第 35 回食品表示部会 (CCFL) 概要
8-(1)	第 39 回残留農薬部会 (CCPR) 議題 [仮訳]
8-(2)	第 39 回残留農薬部会 (CCPR) 概要
9-(1)	第 30 回コーデックス総会 (CAC) 仮議題 [仮訳]
9-(2)	第 30 回コーデックス総会 (CAC) 主な検討課題
参考資料 1	<p>コーデックスバイオテクノロジー応用食品特別部会 (TFFBT) 作業部会の概要                      (別添) CL 2007/17-FBT rev.                      Proposed Draft Annex to the Guideline for the Conduct of Food Safety Assessment of Foods Derived from Recombinant-DNA Plants on Low-level Presence of Recombinant-DNA Plant Materials</p>
参考資料 2	コーデックス規格の日本語訳作成について (お知らせ)